

「自分の命は自分で守る」

5月7日(月)に第1回目の避難訓練を行いました。「突然、地震が襲い校舎2階東の理科室から火災が発生した。」という想定で、全員が安全に校舎内から校庭に避難しました。

子ども達の命をおびやかす危機は、突然子ども達を襲います。その時に、“自分の命は自分で守ることができる”子ども達を、日々の教育活動で育てていきたいと思ひます。

久しぶりに登校したにもかかわらず避難するみんなの態度は大変立派でした。今日は、自分の命を自分で守る練習をしました。危険な時は、まず落ち着く。次に、みんなの命を守ってくれる大人、学校では先生の話を良く聞く。そしてよく考えて逃げる。地震や火事は突然やってきます。どんな時でも自分の命は自分で守れるように、ふだんから落ち着いて生活し、先生の話を良く聞き、よく考える練習をしておこう。
【学校長の話より】

新しい“なかま”を全員で祝福

5月8日(火)に、児童会・計画委員会が企画・立案した「1年生を迎える会」がありました。1年生の仲間入りを、2年生以上の子供達と我々職員全員で、心から喜び合いました。今までの不安がいつべんに消えて、頼りになる上級生に囲まれているという安心感が1年生の笑顔から、また、上級生からは、「1年生に頼られる上級生にならなきゃ。」という決意や希望が感じられました。

1年生のみんな、楽しかったね。またやりたいね。
このしおりは2年生が色をぬりました。次に3年生がメッセージを書きました。最後に6年生がリボンをつけました。このメダルは4年生が作りしました。そして5年生がリボンをつけました。この迎える会の準備を、ずっと前から計画委員会の5・6年生がしました。1年生のみんな、お姉さん・お兄さんに「ありがとう」の気持ちをもとう。そしてお姉さん・お兄さんの言うことを良く聞いて楽しく生活しよう。【学校長の話より】



「1年生を迎える会」を参観

現在、栃木市教育委員会と國學院大學栃木短期大学は連携・協力に関して、協定を結んでいます。学生が市内の小・中学校で教育実習をしたり、学生が小・中学生の学力向上等に貢献したりします。先日、本校にも十数名の学生が来校し、将来教職につくために多くのことを学んで、大学に戻っていきました。

大学生との交流

現在、栃木市教育委員会と國學院大學栃木短期大学は連携・協力に関して、協定を結んでいます。学生が市内の小・中学校で教育実習をしたり、学生が小・中学生の学力向上等に貢献したりします。先日、本校にも十数名の学生が来校し、将来教職につくために多くのことを学んで、大学に戻っていきました。



「地震だ、机の下に。」



「クラス全員、避難完了」



ゲーム「名しを持ってこんにちは」



ゲーム「しっぽとりゲーム」



しおりとメダルをプレゼント



6年生と手をつないで退場